



- ①よさを伸ばし合う子ども
- ②つながりを大切にする子ども
- ③自らとふるさとを拓く子ども



安全に楽しくすごしましょう!!

~明日から34日間の 夏休みがスタート~

いよいよ明日から待ちに待った夏休みが始まります。以前、配付しましたおたよりでもお知らせしたとおり、1学期のお子さんのがんばりは、通知表ではなく夏休み中に実施する個人面談でお知らせします。お子さんのことについて学級担任と情報を共有し、おうちでお子さんと一緒に1学期をふり返り、2学期に備えてほしいと思います。

さて、1学期、子どもたちは様々なことに挑戦し成長してきました。夏休みは普段できないことをチャレンジするよい機会でもあります。おうちの役割を担わせるなど、何か一つ取り組ませていただければと思います。

夏休みには、楽しい出来事も多く、開放的な気持ちが強くなりがちです。思わぬけがや事故に巻き込まれる危険性も高くなります。各学級や地区児童会においても夏休みの生活について確認してあります。7月8日に「夏休みの約束」も配付しておりますので、今一度ご確認ください。全校68名の児童一人一人にとって、有意義で事故のない夏休みとなることを願っています。



次のような場合は連絡を（電話・メールどちらでも）

- ★事故や事件にあった場合
- ★大きな病気やけがをした場合
- ★困ったことや相談したいことがある場合
- ★転校する場合

※勤務時間以外や土曜日・日曜日・祝日・閉庁日（8/13～8/16）は、メールでの連絡をお願いします。

〈充実した夏休みにするために〉

自由時間が増える夏休みは、長時間スマホや携帯ゲームでインターネットに接するお子さんも多いと思われます。便利なツールである一方で、トラブルに遭う事例も増えています。

【小学生の身の回りにあるネットトラブル】

- ① スマホの使いすぎによる生活の乱れ、体調不良
- ② SNS、メッセージアプリでの悪口・仲間外れ
- ③ 知らない人からの誘い
- ④ ゲームへの高額課金やワンクリック詐欺
- ⑤ 違法アップロードなどの著作権侵害

スマホやゲームの使い方について、お子さんともう一度ルールや約束を確かめて、安全で楽しい使い方ができるようにしましょう。



1学期末授業参観へのご参加、ありがとうございました

平日にも関わらず、たくさんの保護者の皆様に参加していただき、子どもたちも張り切って学習に取り組んでいたようです。お子さんの頑張りを褒めてあげてください。

今回は学級懇談はなく授業参観のみでした。お話がある場合は、夏休み中のPTA個人面談でお伺いします。今後とも、本校の教育活動へのご支援・ご協力をお願い申し上げます。



着衣泳



7月18日(木)、赤十字秋田県支部の3名の水上安全法・救急法ボランティア指導員を講師にお招きし、着衣泳講習を行いました。子どもたちは、落水体験やペットボトルを使った救助活動体験などを通して、「つかまるものがない、手が届かない場合は身の回りのものを利用して、「浮いて待つ」ことが大事であることなどを学びました。今日学んだことを実践しなくてもすむ行動をとることが何より大事なことです。いざというときは、今回の経験が少しでも役に立つことを願います。



やまびこ集会

7月17日(水)、学年団ごとに集会を行いました。小グループになり、学んだことや体験したことなどを紹介しました。



- 【低学年団】
- 1年：国語の作文
- 2年：お薦めの本
- 【中学年団】
- 3年：お薦めの本
- 4年：社会科の調べ学習
- 【高学年団】
- 5年：宿泊体験学習
- 6年：ジオ見学



今週の1枚

「校長先生、食べてください。」
2年生が校長室に、「手作りコーンフレックパフェ」を持ってきました。冷たさがアイスの冷たさよりも、蒸し暑さが一気に吹き飛ばす感じが、おいしいさでした。!!
ごちそうさまでした。



つぎ 小学からの健康づくり

先日、弘前大学名誉教授の中路重之先生のご講演を拝聴する機会がありました。

中路先生は、平均寿命が日本の都道府県中最短である青森県の短命県返上のため、社会医学講座を中心に健康教育を長年にわたって実施してきた方です。

青森県民はどの年代でも、どの病気でも死亡しやすい傾向にあり、その背景には、生活習慣の悪さ、健診受診率の低さなどがあるといえます。

中路先生は、健康教育について、民主主義と同様に市民一人一人の知識や意識のレベルを上げる必要があります。医師だけでなく多くの人を巻き込んで、世の中を変える必要があると訴えます。

興味深かったのは、人の全死亡の約6割を占める「三大疾病(がん・心臓病・脳卒中)」の原因とされる高血圧や脂質異常症、糖尿病等の病気は、30年から40年という長い年月をかけて発症するため、健康への関心が低い若い世代(小中学生)への健康啓発が重要になるということです。つまり、学校における健康教育の大切さを説いています。

実際、小中学生を対象に、運動と食生活による肥満対策、喫煙対策、飲酒対策をターゲットにした授業を行い、児童・生徒にリアルに健康教育を伝えるために、血圧、味噌汁の塩分、歩数などの実測を行い、健康教育に取り組んでいるようです。人生100年時代といわれますが、楽しい人生の基礎は、「健康づくり」です。小中学生の今の生活が、30年後、40年後の自分をつくっていきます。明日から夏休みです。生活のリズムを崩さず、計画的に過ごしてほしいと思います。

